

令和2年1月15日実施

出された意見・要望	市議会の意見	行政の見解・対応
<p>1. 障がい者についての、学校における教育・交流の機会を増やしてほしい。</p> <p>2. 地域での障がい者に対する理解を深める機会、また参加の機会を作してほしい。</p> <p>3. 大北地区北部にも養護学校を設置してほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 養護学校と小中学校との交流の機会を設けるとともに、地域活動に参加しやすい環境整備に努めていただきたい。 ・ 安曇養護学校分室の設置及び副学籍の導入に向けて県と大北地区市町村の教育委員会で協議しており、大町以北で6名以上の希望があれば、分室の設置が可能であることから、現在、各市町村が保護者へアンケートを実施している。また、副学籍が導入されれば、地域行事の情報も得やすく、参加しやすくなるため、今後の動向を注視していくこととしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共生社会を目指した障がい者理解の推進を図るため、学校における人権教育の充実を図ります。 また、児童生徒の交流のあり方等、安曇養護学校保護者の皆様のご意見もいただき、学校間で検討を進めます。 ・ 地域活動については、地区PTAへも参画いただき、地域の皆さんとともに参加しやすい環境整備にご協力いただきたいと考えます。 また、障がい者について理解を深めるため、市の広報紙などを活用するほか、市役所などでポスター等を掲示するなど、引き続き周知に努めるとともに、毎年10月に開催される「市民ふれあい広場」等、市が主催するイベントなどは、障がいがある方にも気軽にご参加いただける催しとして環境整備に努めており、ご意見等がありましたらお寄せください。 ・ 以前から、安曇養護学校へ通学する児童生徒の負担軽減を図るため、市内への分教室の開設を県教育委員会へ要望しておりましたが、この度、一定の条件が整えば、分教室の開設について検討を進めることが確認され、分教室開設に関するアンケートを実施中です。 また、副学籍の導入については、安曇養護学校保護者の皆様のご意向も確認し、市内分教室の開設と併せて、本年度検討を進めることとしています。

<p>4. ヘルプマークの周知と活用。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報掲載やポスター掲示により、ヘルプマークの周知を行っているが、認知度が低い状況である。また、マークを持っている人への対応方法が分からない人も多いため、併せて今後も積極的な啓発に努めていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ヘルプマークについての理解がすすんでいない状況は承知しております。引き続き、市の広報紙への掲載、ポスター掲示、イベント等の機会を生かして周知を図ります。
<p>5. 避難所などで障害者と分かるようなバッジやリボンを用意してほしい。</p> <p>6. 災害時の障がい者に対する対応を充実してほしい（避難所に障がい児のための個室の設置など）。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ バッジやリボンについては、希望者に配慮いただきたい。 ・ 災害時は、身近な避難所に避難いただくことになる。ここでは、要配慮者の状況に応じて、別室などで生活できるよう配慮することとしている。また、避難生活が長期化する場合については、福祉避難所開設後において移動いただくことが可能である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい者用のバッジやリボンについては、今後検討いたします。 ・ 避難所では、避難者情報を把握するため避難世帯ごとに避難者受付簿の提出をお願いし、特別配慮が必要な方の情報も併せて記載いただくこととしています。記載された情報を基に、避難所運営委員会において、避難所の状況を加味しプライベートルーム等の設置や個室を設ける等の判断をいたしますが、障がいの状態に応じて、保健師等の専門家の意見を踏まえ、福祉避難所等への移動も検討いたします。
<p>7. 病院の待合時間については、車内などで待っててもらい、携帯電話で呼び出しをするなど改善してほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大町総合病院では、感染症や高齢者等の患者に対し、車内等での待機に対応している。患者への受付での周知を更に努めていただきたい。また、同様な対応を医師会へ要望いただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 従来から対応していますが、さらに周知に努めるよう職員に指示いたしました。 ・ 医師会へ検討を依頼します。
<p>8. 行政、福祉事業所、学校などで、障がいに関するスペシャリストを養成してほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修機会の充実と、相談者の立場に立った丁寧な対応に努めていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい福祉分野は多岐にわたる知識が必要なため、職場や外部機関で開催される研修に積極的に参加し知識の習得と共有に努めます。 ・ また、ご相談の際には、常に相談者の立場に立ち、丁寧な対応に努めます。
<p>9. 重度の障がい者を受け入れるデイサービスを設置してほしい。</p> <p>10. 障がい者のためのグループホームを増やしてほしい。</p> <p>11. 経済的にも安心して暮らせる福祉制度の充実を図ってほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実際には空いている施設もあるが、施設と希望者の状態にあったマッチングが難しい。 ・ グループホームについては、相談のあった希望者数を既存の事業所に伝えている。 ・ 福祉制度について、「障がい者福祉制度のあらまし」や、出張講座などの周知啓発に努めていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障がいのある方のデイサービス（生活介護）事業所が複数ありますが、個々の障がいの状況に対応できない事案もあることは理解しております。様々なニーズに対応できるよう事業者と連携してまいります。 ・ グループホームについては、昨年度、市内に1カ所新設されており、今後も大北圏域で体制整備に取り組みます。 ・ 経済的支援として主な制度は障害基礎年金制度のほか、障害者扶養共済制度、福祉医療、税の軽減等の制度などがありますので、引き続き周知啓発に努めます。

<p>12. スクールバスの代替となる福祉バスを（スクールバスが利用しづらい）運行してほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設置者である県に、市教育委員会を通じ、継続して要望いただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ スクールバス乗車時間が長く、児童生徒への負担も大きいものと認識しており、学校設置者である県教育委員会へ、スクールバスの増便やルートの見直し等、運行方法について、要望してまいります。 ・ 福祉バスの運行につきましては、市といたしましても、教育委員会と情報を共有していますが、安曇養護学校が県立学校であるため、通学に関する改善のご要望につきましては、市教育委員会から県教育委員会へ、引き続き要望いたします。
<p>13. 困ったときになんでも相談できる窓口（駆け込み寺）を設置してほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て支援課と福祉課とが連携しながら、ワンストップで対応し、更なるサービス向上に努めていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成30年10月に子育て世代包括支援センターあおぞらが開所し、出産から子育てまでの様々な相談に応じています。相談内容によって関係課で連携を図り対応に当たっています。
<p>14. 市（行政）への要望に対する定期的な回答が欲しい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市長と安曇養護学校PTAとの「まちづくり行政懇談会」において、PTAからの要望を伺っていることから、進捗状況等について逐次回答いただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安曇養護学校との懇談会は昨年度まで毎年実施しており、当日は市長をはじめ関係課の担当者が参加し、なるべくその場で回答することを基本としています。内容により回答までに日数を要する場合がありますが、そのような場合は代表者に回答を伝えるなどの対応をしています。